

●「美しく活力ある農山漁村」実現のためにさまざまな取組が行われています。

むら

～「ディスカバー農山漁村の宝」優良事例紹介～

令和5年度
第10回選定地区

「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」とは、「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」の実現のため、農山漁村の有するポテンシャルを引き出すことにより地域の活性化、所得向上に取り組んでいる優良事例を選定し、全国に発信するものです。

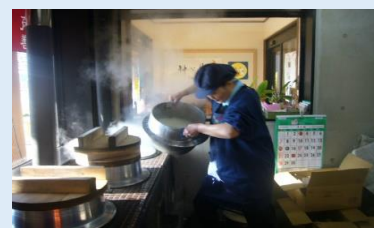
株式会社 筑前町ファーマーズマーケットみなみの里（福岡県）

ー かまど炊きごはん一筋15年ー



概要

- ・直売所・町産米や大豆の加工所・農村レストラン・弁当工房を運営。競争を意識して「ここにしかないもの」にこだわり、レストランでのかまど炊きごはんの提供の他、かまど炊きごはんと伝統食が入った弁当の製造販売を実施。
- ・町産のくず米有効活用のため、パン工房にて米粉パンや米粉ピザの製造を実施。米粉パンは町内の幼稚園の給食にも使用。



成果

- ・売上は、約7.2億円（平成30年度）から約8.2億円（令和4年度）に増加。売上の約2割をレストラン、弁当工房とパン工房の売上が占め、町産米の消費拡大に貢献。
- ・地域農家から仕入れる弁当の材料代は、約450万円（平成21年）から約1,100万円（令和4年）に増加し、農家の所得向上に寄与。



資料：農林水産省農村政策部「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」（以下同じ）

上記は全国版で選定された地区ですが、九州内において応募のあった事例の中には、これら以外にも優れた取り組みがあることから、九州の地域資源を活用した優れた取り組みについて選定し、広く発信することにより他地域への横展開を図ることとしています。

そして、令和5年度九州農政局「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」選定審査委員会では、次の3地区を選定しました。

県・市町村名	地区・団体・個人名	取組概要
長崎県 対馬市	有限会社丸徳水産	藻場の喪失（磯焼け）により魚介類が激減している状況を踏まえ、海藻類を食い荒らす食害魚（イスズミやアイゴ等）を資源として活用し、磯焼け対策・生態系保全に寄与。独特のくさみから利用価値が低かった食害魚を「食べる磯焼け対策」としてメンチカツ等に加工。販路を島内土産店やスーパー、学校給食へと広げるとともに、藻場再生事業として、ヒジキの育成や藻場再生の現場を巡る「海遊記」ツアーを事業化し、子供連れの観光客や修学旅行客で令和4年の事業開始以来、600名以上の参加実績。
大分県 宇佐市	宇佐ジビエファクトリー （有限会社サンセイ）	有害鳥獣の処理・加工・販売を一貫して行うほか、知識と実技をマスターできる日本初のジビエ処理研修施設を設立、ジビエが全国スタンダードとなることを目標に、県内外の事業者にも製造技術を公開。鮮度が良くても人間の口に適さない繁殖期の雄や加齢鹿・猪の肉をベッTFードとして供給するなど、令和4年の年間処理頭数は1301頭（鹿926頭、猪375頭）と大幅に増加。社会科学見学やインターンシップも実施し、命を無駄にしないサステナブルな活動として食育にも貢献。
宮崎県 都城市	有限会社徳重紅梅園	有機肥料を主体とした徹底した土作りによる梅栽培、地域に伝承される道具や製法を守る加工法を、半世紀以上にわたり信念として実施。取組の結果、町内地域グループにおいて有機梅生産の取組が定着、有機梅生産組合の結成に至る。大淀川源流に整備した梅園4haは過疎化対策と景観保護にも貢献。土鍋で煮詰めて作る梅肉エキスや梅干しで元気になったとのお礼の声に励まされ、子供の健康を心配する顧客に少しでも安価な商品提供に努力したいとの考え。